

## 平成 23 年度 第 143 回 教育研究審議会議事要録

**日時** 平成 23 年 6 月 14 日 (火) 13:30~15:20  
**場所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 近藤学長、岡本副学長、梶原副学長、木原副学長、堀口事務局長、伊藤外国語学部長、吉田経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、龍国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、古賀都市政策研究所長、八百学術情報総合センター長、田部井学生部長、二宮教務部長、柳井入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、上江洲地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

- 配布資料**
- 1 欠員補充申請書 (文学部)
  - 2 特任研究員の選考について
  - 3 再任審査委員会の設置について
  - 4 リスクマネジメント検討委員会の設置 (案)
  - 5 「図書館整備検討委員会」の設置について (案)
  - 6-1 年度計画及び第 1 期中期計画 項目別評価結果
  - 6-2 平成 22 年度計画及び第 1 期中期目標期間に係る自己点検・評価報告書 (案)
  - 7 東日本大震災に係る学生ボランティア活動について
  - 8-1 第 1 期中期計画期間 (平成 17 年度~平成 22 年度) 公開講座 実施状況
  - 8-2 平成 23 年度公開講座事業計画一覧

議事に先立ち、前回の教育研究審議会の第 3 号議案「環境教育ワーキング・グループ及び英語演習ワーキング・グループの設置について」に関する委員の修正について、以下のとおり説明があり、承認された。

- ・環境教育ワーキング・グループ  
基盤教育センターひびきの分室森本教授は辞退。文学部岩松准教授が竹川教授へ変更。
- ・英語演習ワーキング・グループ  
外国語学部ストラック准教授は当初案どおり変更なし。法学部狭間准教授が坂本教授へ変更。

### 第 1 号 教員の採用について

\* 資料1のとおり、文学部からの申請に基づき、平成24年3月31日付けで定年退職する新村昭雄教授の後任として、イギリス文化担当教員1名の欠員補充について提案。

- 新村昭雄教授の担当分野は「アメリカ文学」であるが、文学部比較文化学科の教員の学問分野のバランス等を考慮し、新村教授の欠員補充は担当分野を「イギリス文化」に変更して行うこととした。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

### 第 2 号 特任研究員の選考について

\* 資料2のとおり、国際環境工学部の特任研究員1名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 第 3 号 再任審査委員会の設置について

\* 資料3のとおり、平成24年3月31日付けで任期満了となる任期制教員のうち、再任申請のあった4名(基盤教育センター1名、国際環境工学部3名)の審査を行うため、再任審査委員会の設置について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

#### 第4号 リスクマネジメント検討委員会の設置について

\* 資料4のとおり、リスクマネジメント検討委員会の設置について提案。

- 中期計画に掲げる「効果的なリスクマネジメント」を進めるため、リスクマネジメント検討委員会を設置する。当委員会では、リスクマネジメントの組織体制、リスクの発生防止及び低減のための管理規程の作成等について検討を行う。
- 検討範囲が多岐にわたることから、個々の案件に対応するため、必要に応じて部会を設置することや、委員以外の関係者に会議へ出席してもらうことも考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 第5号 図書館整備検討委員会の設置について

\* 資料5のとおり、図書館整備検討委員会の設置について提案。

- 中期計画では、「図書館など老朽化施設について、耐震化対策を含めた長期計画を策定し、計画的な整備を行う」とされている。このため、図書館整備検討委員会を設置し、図書館整備基本計画案を策定する。
- 平成18年度に「北九州市立大学図書館のあり方について」報告書が出されている。当委員会での検討は、この報告書を引き継いで進められるのか。
- 平成18年度の報告書がベースになるかと思うが、現在予算計上されている調査費も活用しながら基本計画作りを進めていく。
- 図書館の情報化の観点からの委員は、誰になるのか。
- 学術情報課長が委員となっている。
- 図書館は学生・市民・教職員が利用する。利用者の意見をどの時点で入れていくかも重要である。
- 図書部会を通して各部局の意見・要望をとりまとめるとのことだが、当委員会にも各部局から教員が入っている。当委員会に各部局からの教員は必要なのか。また、検討事項の中には整備財源調達方法があるが、教員にそこまで役割を持たせるのか。
- 図書部会は日常の図書館運営について、当委員会は新図書館整備等について検討を行うものであり、役割は分担されている。また、委員となる教員は、所管事項のうち「教育・研究支援及び学生支援のための図書館機能」の検討を担当する。
- 図書館の整備は、予算等で北九州市との調整が必要になることが十分想定されるため、オブザーバーとして北九州市の学術振興課にも入ってもらうこととしている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 第6号 平成22年度事業に係る自己点検・評価について

#### 第7号 第1期中期目標に係る自己点検・評価について

\* 資料6-1～2のとおり、平成22年度事業に係る自己点検・評価及び第1期中期目標に係る自己点検・評価について提案。

- 平成22年度計画の89項目及び第1期中期計画の169項目について、評価室会議において各部局等からの意見を取りまとめ、達成度評価を行っている。
- 平成22年度計画の達成度評価の内訳は、Ⅲの評価（年度計画を順調に実施している。）が76項目、Ⅳの評価（年度計画を上回って実施している）が13項目となった。また、第1期中期計画については、Ⅲの評価が99項目、Ⅳの評価が70項目となった。
- 本日の承認が得られれば、6月16日の経営審議会での承認を経て、北九州市に提出したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第8号 東日本大震災に係る学生ボランティア活動について

\* 資料7のとおり、東日本大震災に係る学生のボランティア活動の大学としての取り扱いについて提案。

- 東日本大震災の被災地域における支援のため、学生がボランティア活動に参加するための修学上の支援や手続きについて、本学での取り扱いを定めるものである。
- 授業によっては、レポート等の課題を課す場合もあるが、提出期限がボランティア活動と重なった場合の対応はどうすればよいか。
- レポートの課題の期限延長などは考慮に入れていない。ボランティアへ行く前に提出するよう指導してもらいたい。学生課の窓口でもそのように指導したい。
- 出席扱いの対応方法を一律に決めてしまうと、授業の形態で個別に事情が異なるため、ある程度担当教員の裁量を認めてもらいたい。
- ボランティアに伴い出席扱いをした後は、各担当教員で適切な対応をとってもらいたい。
- ボランティア活動証明書等の各種届出書類の提出期限を確認したい。
- 提出書類などに明記し周知したい。
- 文部科学省からの通知「東北地方太平洋沖地震に伴う学生のボランティア活動について」は参考資料であり、被災地域でボランティア活動を行えば単位がもらえるといった内容のものではないとの理解でよいか。
- そのとおりである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 報告

- ① 平成22年度公開講座実施結果及び平成23年度公開講座実施計画について、資料8のとおり報告があった。
- ② 次回の審議会を6月28日（火）に開催する予定である旨、報告があった。